

ほけんだより

キッズルームこっこ保育園



コロナがふたたび・・・

もう遠い昔の話のような気がしますが、コロナがちらほら出ています。特徴としては、KP3という新たな株であることと、オミクロン株の一種であること。感染しやすく、統計上症状が悪化しやすいのはワクチン未接種が多いとのこと。今は感染症第5類に分類され、インフルエンザと同じ扱いになっている新型コロナウイルス感染症。登園基準もインフルエンザと同じ扱いになっています。コロナを始めとする感染症についてのご相談は、遠慮なく園まで問い合わせをお願いします。

内科健診のお知らせ

8月の内科健診は23日（金）9：00～乳児クラスを対象に行います。早めの登園のご協力をお願いします。

かかりつけが夏休み?!・・・こんな時は

受診するべき? 迷ったときは



夜間や休日に子どもの具合が悪くなったとき、すぐに休日診療所や救急外来を受診すべきかどうかは、迷います。自己判断で、急ぐ必要のない受診をしたり反対に急を要する状態を見逃したりしないよう、信頼できる相談窓口やアプリを登録しておきましょう。

こどもの救急 (ONLINE QQ)

厚生労働省研究班と日本小児科学会の監修によるウェブサイトです。対象年齢は、生後1か月～6歳。発熱、おう吐、けが、誤飲など、気になる症状から細かいチェックリストに進み、受診の要不要を判定。看病のポイントも紹介されています。

こども医療電話相談 (365日受付) # 8000

全国同一の短縮番号# 8000に電話をすると、都道府県の相談窓口につながり、小児科医や看護師から、症状に合わせた対処法や受診の必要性、受診する病院についてのアドバイスが受けられます。

全国版救急受診アプリ「Q助」

総務省消防庁が開発・提供しているアプリです。画面上で該当する症状を選択すると、緊急度に応じた対応（救急車を呼ぶ、早めに医療機関を受診、引き続き注意して様子を見るなど）が表示されます。医療機関や、受診手段の検索も行えます。

夏期保育の過ごし方

いよいよ楽しい夏休みが始まります。あれこれと計画を立てているご家庭もあることと思います。今年の夏も大変暑く、アラートとにらめっこする毎日です。

暑さは大人と子どもの体力・抵抗力を奪います。体力・抵抗力がなくなると、あっという間に感染症にかかりやすくなってしまいます。

感染症に強い体を作るには、よく食べ、よく寝て、よく遊ぶこと。これに尽きます！保育園で過ごすことも、子どもにとっては楽しいことなのですが、毎日の登園も体力を使います。休みなく登園を続けると疲れが溜まり体調不良を招く原因にもなりかねません。結果的に秋風の吹くころ、体調を崩し長期の休みになってしまうお子さんが多いのも事実なので、今年度は体調を崩すお子さんが少ないといいな～と願わずにはいられません。定期的な休息・休日を取り入れて、暑い夏を乗り切りましょう！

手足口病が流行しています・・・

7月19日頃より手足口病が流行しています。最近では、肘や膝にも発疹が出るタイプもあるので注意が必要です。大人が感染すると重くなる傾向があり、便や尿には2～4週間ウイルスが排泄されるので、手洗いや消毒等の対策をしっかりと行うことが大切です。無理をせず、熱が下がり食欲が戻り元気になったら登園しましょう！

緊急 ミニおたより

手足口病

※できるだけ早く医師の診断を受けましょう。

潜伏期間=3～6日

感染者のせきやくしゃみからの飛沫感染や接触感染、便に出たウイルスで糞口感染する。

口の中に水疱ができる
と、破れて口内炎になり、
食欲が落ちる。

38℃前後の発熱

まうちでケア

- * 薄口で口当たりのよい食べ物を与え、食後はぬるめのお茶などを飲ませ、食べかすを取り除いてあげましょう。
- * しっかり水分補給をしましょう。
- * オムツ交換の後は、手洗いと消毒をしましょう。

手のひら・足の裏・指の間・体に、痛みを伴う水疱や赤みを持った米粒のようなブツブツ(丘しん)ができる。

出席停止期間

熱がなく、普通に食事ができること(解熱後1日以上経過)。

予防チェックリスト

□ ていねいに手洗い・うがいをする。



